

論語教室だより

『寺子屋・こども論語塾』世話人会

第 6 号

2011 (平成23) 年9月17日 (土)

あきらめたら、あかん!

寺子屋・こども論語塾 主宰 新田 修

8月の寺子屋こども論語塾は、東京より安岡定子先生をお招きし、40分程 孔子先生の仁の心にふれる有意義なお話を聴くことができました。最後に上野暁一君が素晴らしいお礼の言葉を述べてくれました。また、私の先唱で安岡先生が復唱してくださり、味読を披露できましたこと感動しました。

さて、冒頭の言葉は「だから、あなたも生きぬいて」の著者、大平光代さんが2000(平成12)年、波乱の半生を描いて260万部を超えるミリオンセラーとなった自叙伝の一節です。

彼女は中学生の時、いじめにあって自殺しようとはしますが、未遂に終わり、その後、非行に走って、ついには16歳で暴力団組長の妻となり、22歳で離婚します。後に養父となる厳しくも慈愛に満ちた一言がきっかけで、見事、立ち直り中卒の学歴で独学し、29歳で司法試験に1発で合格して弁護士となり、児童生徒の様々な問題に立ち向かい、2003年に大阪市の助役になり2年後に辞任、その年、先輩弁護士と再婚します。翌年、女兒を出産。ダウン症、心臓疾患、及び白血病と診断されます。現在は、家族と山間の地で静かに暮らしています。

彼女は著書の中で、こう訴えています。

現在いじめをしている子へは、「あなたがいじめているのは、きれいな子、めざわりな子かも知れません。でも、それがその子自身なのです。人はそれぞれ違うのです。その違いを認める広い心をもってほしいのです。」と。また、現在いじめられている子には、「苦しい状況が、一生続くわけではありません。学校であれば、卒業があるのです。だから絶対に自殺なんかしないでほしいのです。」と。

そして、この本の最後に書かれている言葉が冒頭の、「あきらめたら、あかん!」なのです。

壮絶な人生を送ってきた大平光代さんだからこそ、心に響き胸に迫ってくるものを感じるのではないのでしょうか。

☆ 塾生紹介 ☆

あとじ ゆか 阿閉 由佳さん	<氏名>	まえやま さき 前山 紗希さん
江別小学校・3年	<学校名及び学年>	日新小学校・2年
理科・体育	<好きな教科>	体育
スキー・テニス・水泳・旅	<趣味(好きなこと)>	絵を描くこと
グラタン・ドリア・サーモンハラス	<好きな食べ物>	チョコレート
特技はスキーでジュニア検定1級 あだ名は、ゆかぼんです。新田先生へ いつまでも元気で論語を教えてください	<その他>	血液型はB 新田先生の論語についての感想は、わかりやすく、すぐに論語がわかりました。
阿閉さんは趣味がたくさんあって、うらやましい。あだ名の「ゆかぼん」の由来を 教えて下さいね。幼稚園時の意見発表は 今でも印象に残っています。塾では 時々、一人で頑張っている姿に感動 します。	<先生からのコメント>	絵を描くことが好きな人って、先生 は全く駄目なので尊敬してしまいま す。前山さんは論語を家でしっかり 勉強しているからわかるのだと 思います。先生、とても嬉しいです。